

令和元年度まちづくりを全般とした地域集会（岡田）

会 議 録

1. 開催日時及び場所 令和元年7月25日(木) 18時30分～20時00分
岡田コミュニティセンター

2. 出席者

大島町

- ・三辻 利弘 ・橘田 竹弘 ・谷口 浄
- ・木中 孝次 ・下村 優 ・川島 正憲
- ・小坂 恵 ・原沢 由香 ・福田 定信
- ・松本 進一

住民 16名

3. 次第

1. 開会

- 1) 意見交換

副町長 定刻になりましたので、ただいまからまちづくり地域集会を開催します。
本会を進行させていただきます副町長の橋田です。本会は午後8時終了を
予定しておりますので、ご協力をお願いします。
はじめに、町長よりご挨拶をお願いします。

町長 町長の三辻です。皆様には日頃から町行政に何かとご理解、ご協力をいた
だきまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。
本日の地域集会では、2つのテーマがあります。一つは後期基本計画策定
について、もう一つは皆様の声を聞くわかりやすく具体的な仕組みについて
です。
まず、後期基本計画についてですが、本年度は、町の長期計画である「第
6次大島町基本構想・後期基本計画」の策定の年となります。
この計画を簡単に説明します。町の政策は、地域の公共的な課題を解決す
る手段であり、この手段を集約したものが基本構想であり、基本構想実現に
向けての実施計画が基本計画となります。要は、町の行財政運営の指針とな
る最上位に位置する計画です。
ちなみに基本構想の計画期間は平成28年度から令和5年度までであり、
前期基本計画は平成28年度から平成31年度まで、後期基本計画は令和2
年度から5年度までとなります。
従来ですと町が原案を策定し、この原案をもとに住民説明会を開催し、皆
様の意見等を聴いて調整のうえ最終原案とし、総合開発審議会にかけ了承を
得たうえで、議会に提案・議決というパターンでしたが、過去、原案策定前
の白紙の状態に住民の意見を聴いてほしいという声もありましたので、今回
は、原案策定の前に皆様の意見等を聴いてみたく、本日の地域集会の開催と
なった次第であります。
このようなことから、大島全体の課題について、また、地域で困っている
ことなど、皆様の忌憚のない意見等を頂戴したいと思っておりますので、よろしく
お願いいたします。
次にもう一つのテーマであります、皆様の声を聞くわかりやすく具体的な
仕組みについてです。
今後の行政活動を進めるに際しましては、住民皆様の声を聞くための、わ
かりやすく具体的な仕組みを作りたいと考えています。
まずは、広報おおしま7月号にも掲載しましたが、広聴ハガキの設置、広
く聴くハガキということですが、このハガキを町役場本庁・各出張所、火山
博物館、御神火温泉に置いて、皆様の行政に対する意見、要望などの声を聞
かせていただければと思います。
そして、今回の地域集会で、皆様の意見を聴きながら、住民皆様の声を聞
く、わかりやすく具体的な仕組みを作りたいと考えていますので、どうぞよ
ろしくお願いいたします。

また、例えば老人クラブや婦人会の集会などで、行政のことを聞きたいなどの要請があれば、積極的に行政出前講座的なことも行いたいと考えています。

話は変わりますが、嬉しいニュースがあります。歌舞伎義太夫の竹本葵太夫であるくぼいちの息子さんの柳瀬さんが重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されまして、大変喜ばしいことですのでご報告いたします。

以上、挨拶とさせていただきます。本日は限られた時間となりますが、積極的な意見等をよろしく願います。

副町長 ここで出席者の紹介をいたします。

（教育長 谷口、総務課長 木中、政策推進課長 下村 自己紹介）

副町長 それでは、ご意見等ございます方は、挙手にてお願いいたします。

A 氏 土砂災害時の次の台風の際に、幼児と一緒に連れて行けないので預けた。高齢者もトイレが近いから迷惑がかかると行かない人もいた。私も若い頃は体育館でも寝れたと思うが、高齢になってくると躊躇してしまう。高齢者や幼児が安心して避難できる場所がほしい。

町長 要支援者については役場に避難できます。和室もありますので。

B 氏 避難所へ食料等持参でと防災無線で放送しているが、車を持っていない人は大変なので雨の中は無理。だから避難しない。

町長 地域によるが極力避難したほうが良い。自主防災組織で、車を持っている人と一緒に避難できれば。

B 氏 持っている人がいない。

A 氏 避難所が二中の3階だと上がるのが大変。

町長 職員も居ますので、3階まで上がるのが困難なときは介助します。

C 氏 幼児がいる世帯、車の無い世帯、高齢者等全ての人に対応できる、安心して住めるようあたたかい政策を考えてほしい。

町長 特別警戒区域にお住まいの要支援者の方へは、事前に連絡して対応している。

C 氏 老人ホームに入りたいが、介護度等のルールがあると思うが特別措置は考えられないか？

町長 町に介護サービス付の福祉住宅みたいなものができたら良いかな。

A 氏 選挙教育について、ノルウェーでは小学校から教育しており、高校生では模擬投票等もしているので、投票率が8割くらいある。

教育長 授業で主権者教育という時間はある。学校によって差はあると思うが。

A 氏 島の高校生は政党も知らない。自分の子供がそう。

教育長 以前学校で町議会を見学する取り組みがあった。

町長 どうやって行政や政治に興味を持ってもらうかが課題。

- D 氏 難病で東京の病院へ行くのに付添者が必要だが、補助は無いのか？
- 町長 島外医療については、医師が付添いが必要と判断すれば対象となる。他の地域だと月で回数制限などあるが大島は無く、手厚い補助制度となっている。
- E 氏 観光地で観光シーズンなのに観光施設・観光スポットへの道路は定期的に草刈しないのか？
- 町長 定期的に草刈はしているが年数回となっている。観光地としてイメージも良くないので、看板整備も併せて考えていきたい。
- E 氏 野田浜は海水浴場ではないから整備を行わないのか？浜へ降りる階段が壊れている。
- 町長 把握していませんでした。海水浴場ではないから知らないということはない。危険であれば安全対策を考えます。
- F 氏 島内にいくつかマップがあるけど、大雑把過ぎて観光客には分かりづらいので、もっと分かりやすいマップにしてほしい。
- B 氏 旧岡田船客待合所前の看板が「港が見える丘」と「港の見える丘」と2つ表記されているが統一したほうがよいのでは？
- ジオパークのデジタルサイネージの東海汽船の運行状況が岡田港出帆なのに、熱海行きだけ元町港になっていた。東海汽船に連絡して訂正したが、誰かが必ず確認してほしい。岡田港のデジタルサイネージは電波状況が悪く上手く使えないことがある。
- 町長 しょっちゅう悪い状況であれば困る。確認します。
- C 氏 観光スポットについて観光客への周知が足りない。観光スポットにガイドを置くと良い。泉津遊歩道とか草ぼうぼうで歩けないので草を刈ってほしい。地域ボランティアなど考えても良いのでは。ジオパークは良くやっているとと思うので、住民に周知し住民が町をつくるんだって働きかけをしてほしい。
- メモリアル公園をつくるのに子供の声を聞いてほしいと思ったがアンケート調査しかなかった。もっと子供の声を聞いてほしい。町全体でみんなが町づくりをすんだって、自分たちでやるんだって音頭をとってやってほしい。
- 町長 そういった動きが住民から出ることが良い。
- D 氏 空き家について、八幡様付近に潰れそうな家がある。持ち主に通知とかしているのか？
- 副町長 防災対策室で通知はしている。危ないという所があれば町へ言ってくれば。
- D 氏 一方通行の根本水産付近草がぼうぼう。
- 町職員 建設課へ連絡済です。
- G 氏 空き家問題は全国での課題。国の法律が悪い。町で独自の方策で対応したらどうか。
- 町長 国の法律が優先されるべきですので無視はできない。
- C 氏 農業をやりたいという人が来ても住居や農地の確保が課題。新規就農者の卒

業者に対して町独自の支援をしてほしい。

町長 町独自の補助は無いが、他の補助があるので検討したい。

C 氏 せっかく若い人たちが大島で農業を行おうとしている。町として外から来る人達に安心して大島で仕事をして暮らせるように支援する制度を考えてほしい。

町長 町として新規就農支援や空き家対策などを行っている。

H 氏 移住者ですけど、移住して来たとき町から何も支援はなかった。新規就農者支援も5年やって成果がないのはお金がもったいない。移住対策もそんな体制で良いのか。

G 氏 今からでもやれば良いので、取り組みましょうよ。

町長 島暮らし体験を行っている。

H 氏 島暮らし体験で移住してきた人はいますか？いないでしょ。

町長 ちょっと今は把握していない。

G 氏 町職員の人数は多すぎる。

町長 本土だと広域連携できる部分もあるが、離島なので決して多いとは思っていない。

H 氏 火山博物館のリニューアル計画があるのですか？あるのならこういうように住民と一緒に検討するべきでは。大金を使うときは住民と話し合うべき。火山博物館大金をかけるのなら、地域集会での課題解決に使ってはどうか？火山博物館にそれだけお金をかける価値があるのか検証が必要。住民の多くの賛成があるのなら良いけど。

C 氏 住民にもっと周知するべき。

町長 今は設計段階で、予算や内容については現実的なものを検討していきたい。最後は住民の代表である議会判断です。

I 氏 議員が住民に説明しないとダメですね。

B 氏 岡田港船客待合所の町スペースについて、チャレンジショップの利用頻度、成果は？ワゴンを作ったのはどこ？収益は？借りるのにお金はいくら？

町職員 収益目的ではなく起業支援の一環。都と管理費を按分して払っている。

G 氏 釣りをしていたらある時、あっちへ行けと釣り場で喧嘩になった。散歩をしながら明日葉を採ろうとしたら注意され、後日明日葉をドロボウして東京へ出荷していると言われた。その両方とも役場 OB だった。

町長 そういう人ばかりではない。

H 氏 カテゴリー別に集会をやったらどうか。町長が住民に支えてもらうような感じで良いのでは。

C 氏 多額の金を使うときはちゃんと住民に説明してください。

町長 まずは議会へ説明します。

J 氏 SNS ができない人向けには定期的にこういう集会をやらせると良い。SNS にアカウントを作れば、SNS ができる人はそっちの方が良い。

- E氏 他の地域は何人くらい来たの？
- 町職員 泉津6名、差木地19名、野増9名、北の山7名、元町32名です。
- E氏 もっと積極的に周知すべき。6時半は主婦は忙しい。7時とか効果的な開催をしてほしい。
- C氏 各地域の集会の内容を反映できれば、人は集まると思います。期待しています。
- 副町長 他に特にないようですので、以上をもちまして、地域集会を終了いたします。どうもありがとうございました。

この会議録は、書記が調整したものである。